

4. 避難生活の状況

4. 避難生活の状況

(1) ペット同行避難者の状況

熊本地震における同行避難の課題等について、ペット同行避難者からの情報収集を目的として、アンケート調査を行った。

調査対象者は、益城町総合運動公園、ピースウィンズ・ジャパンユニットハウス村、熊本市体育館におけるペット同行避難者とした。

調査期間は、益城町総合運動公園は平成 28 年 6 月 29 日～7 月 3 日、ピースウィンズ・ジャパンユニットハウス村では平成 28 年 7 月 2 日～7 月 3 日、熊本市総合体育館では平成 28 年 7 月 9 日～7 月 10 日に実施した。

調査は対面によるヒアリングにより実施した。主なヒアリング内容は以下の通りである。

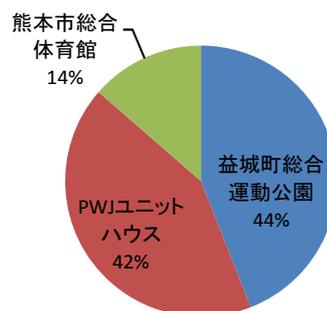
- ・飼育されているペットの種類等
- ・避難状況や避難理由等
- ・避難時のペットの状況等
- ・ペットに関して困ったこと、必要だと思う支援内容等
- ・行政や避難所の管理者側の準備等について等

これらのアンケート結果を集計し、以下にまとめた。

回答者の属性

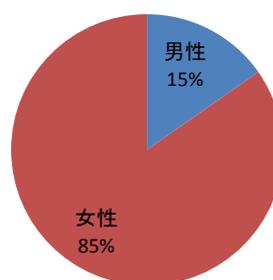
回答者の内訳（ヒアリング場所別）

ヒアリング場所	人数	割合（%）
益城町総合運動公園	26	44.1
PWJユニットハウス	25	42.4
熊本市総合体育館	8	13.6
TOTAL	59	100.0



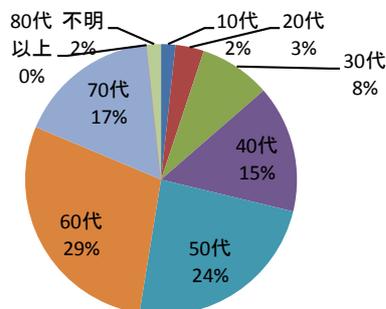
回答者の内訳（男女別）

性別	人数	割合（%）
男性	9	15.3
女性	50	84.7
TOTAL	59	100.0



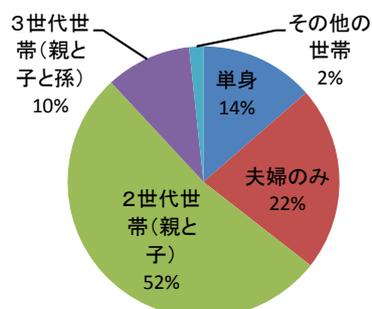
回答者の内訳（年齢別）

年齢	人数	割合（%）
10代	1	1.7
20代	2	3.4
30代	5	8.5
40代	9	15.3
50代	14	23.7
60代	17	28.8
70代	10	16.9
80代以上	0	0.0
不明	1	1.7
合計	59	100.0



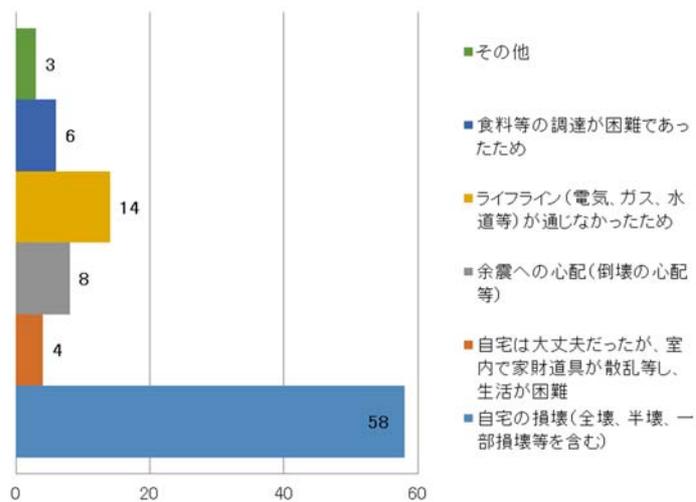
家族構成

年齢	人数	割合（%）
単身	8	13.6
夫婦のみ	13	22.0
2世代世帯（親と子）	31	52.5
3世代世帯（親と子と孫）	6	10.2
その他の世帯	1	1.7
合計	59	100.0



避難の理由

	自宅の損壊（全壊、半壊、一部損壊等を含む）	自宅は大丈夫だったが、室内で家財道具が散乱等し、生活が困難	余震への心配（倒壊の心配等）	ライフライン（電気、ガス、水道等）が通じなかったため	食料等の調達が困難であったため	その他
益城町総合運動公園	25	2	3	5	4	0
PWJユニットハウス	25	1	5	8	2	1
熊本市総合体育館	8	1	0	1	0	2
合計	58	4	8	14	6	3



避難の理由

「その他」の意見

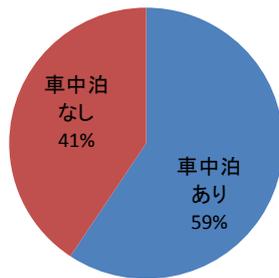
- 土砂崩れの心配。
- 大家さんが(家屋を)崩すから出るように言われた。
- ペットと一緒に暮らすため。

【集計分析】

- 避難理由は、ほぼ全ての方が自宅の損壊によるものであった。

車中泊の有無

	車中泊あり	車中泊なし	計
益城町総合運動公園	13	13	26
PWJユニットハウス	20	5	25
熊本市総合体育館	2	6	8
合計	35	24	59



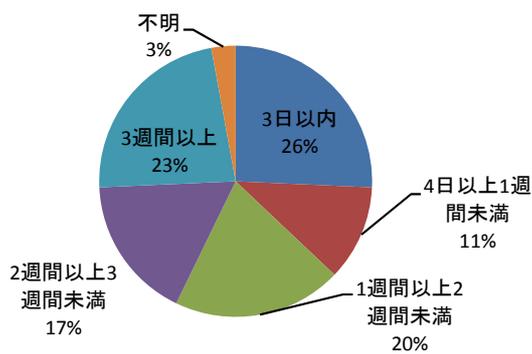
全体合計の割合

【集計分析】

- 同行避難をされた方の中、半数以上の方が車中泊をおこなっていた。
- ピースウィンズ・ジャパンのユニットハウスに避難された方は、車中泊をされていた方の割合が多い。

車中泊の期間

	3日以内	4日以上1週間未満	1週間以上2週間未満	2週間以上3週間未満	3週間以上	不明	計
益城町総合運動公園	6	3	2	0	1	1	13
PWJユニットハウス	2	1	5	6	6	0	20
熊本市総合体育館	1	0	0	0	1	0	2
合計	9	4	7	6	8	1	35



全体合計の割合

【集計分析】

- 益城町総合運動公園に避難された方では、車中泊の期間が2週間未満の方が大多数だった。
- ピースウィンズ・ジャパンのユニットハウスに避難された方では、3週間以上など長期間車中泊をされていた方が多い。

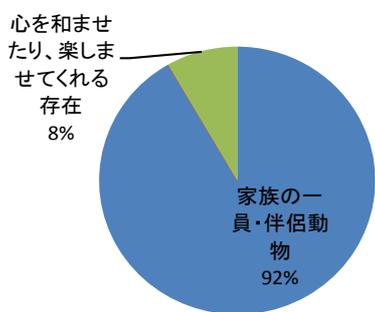
〈2〉 あなたのペットについてお聞かせください。

A. あなたにとって、ペットはどのような存在ですか。

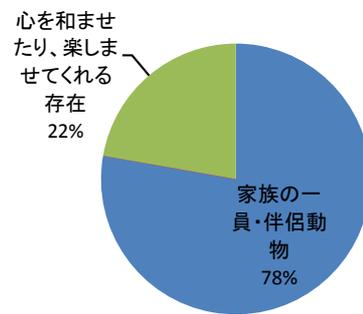
(1つだけ)

ペットの種類	家族の一員・ 伴侶動物	家を守ってく れる番犬 (犬の場合)	心を和ませ たり、楽し ませてく れる存在	計
犬	44	0	4	48
猫	14	0	4	18
その他	1	0	1	2

※数値はペットの種類毎の回答数を示したものの。



全体合計の割合 (犬)



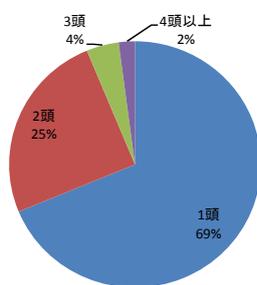
全体合計の割合 (猫)

【集計分析】

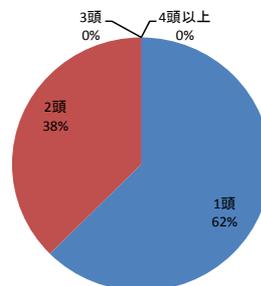
- 犬、猫ともに「家族の一員・伴侶動物」という意見が大部分であった。

B. ペットの頭数

【飼育頭数】



飼育頭数 (犬)



飼育頭数 (猫)

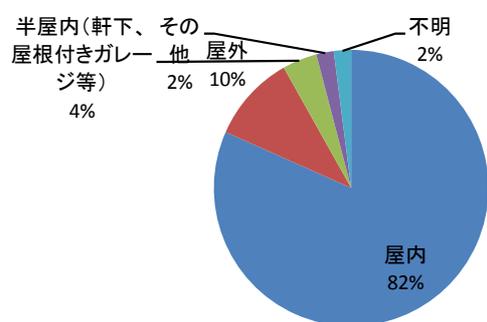
【集計分析】

- 多頭飼育の割合は、犬では 31%、猫では 38%であった。

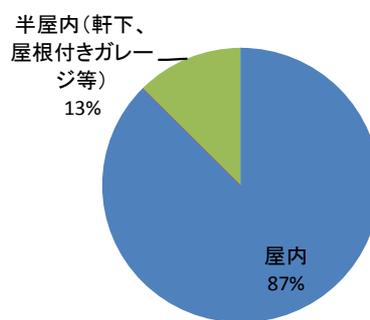
〈3〉 震災前の普段のペットの詳細についてお知らせください。現在、一部のペットと別々にお住まいになっている場合も、そのペットも含めてお答えください。

飼育場所

	屋内	屋外	半屋内 (軒下、屋根付きガレージ等)	その他	計
犬	40	5	2	1	48
猫	17	1	0	0	18
その他	3	0	0	0	3



全体合計の割合（犬）



全体合計の割合（猫）

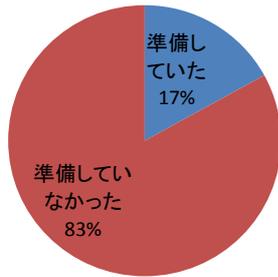
【集計分析】

- 犬、猫ともに、震災前から屋内飼いのペットが多い。

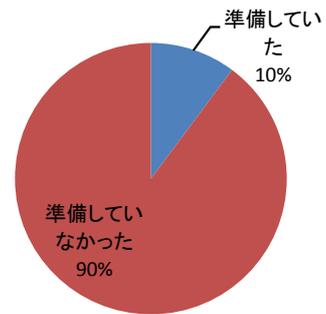
〈4〉 平時から、避難袋は用意していましたか。

避難袋の準備

	準備していた	準備していなかった	計
人用	10	49	59
ペット用	6	53	59



全体合計の割合（人用）



全体合計の割合（ペット用）

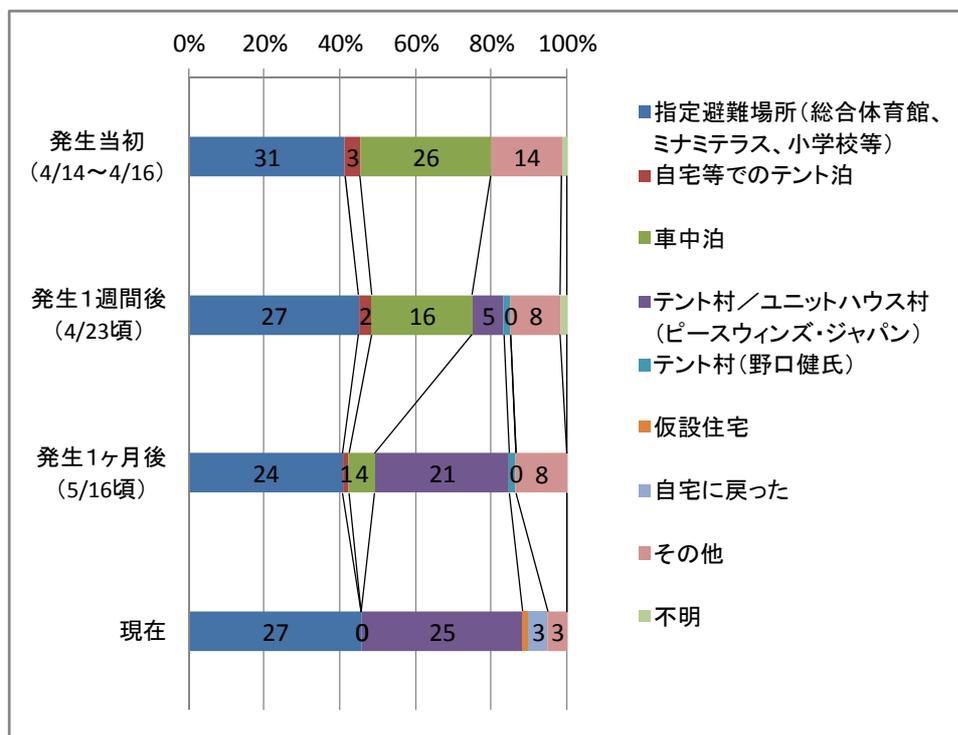
【集計分析】

- 避難袋の準備は、人用、ペット用ともに準備をしていない方が多かった。

〈5〉避難生活の時期別の様子について教えてください。

A. 飼い主さまは、どこに避難しましたか。複数ある場合は、主に避難していた場所の数字をお選びください。

	発生当初 (4/14~ 4/16)	発生1週間後 (4/23頃)	発生1ヶ月後 (5/16頃)	現在
指定避難場所（総合体育館等）	31	27	24	27
自宅等でのテント泊	3	2	1	0
車中泊	26	16	4	0
テント村（PWJ）	0	5	21	25
テント村（野口健氏）	0	1	1	0
仮設住宅	0	0	0	1
自宅に戻った	0	0	0	3
その他	14	8	8	3
不明	1	1	0	0



時期別の避難先

「その他」の意見

① 発災当初

- ・ 役場から体育館へ移動
- ・ 近くの公園
- ・ 公民館
- ・ お子さんの務め先
- ・ 自宅
- ・ コンビニ
- ・ 知人宅
- ・ 広場、空き地

② 発生1週間後

- ・ 親戚の家、実家
- ・ 体育館
- ・ 公民館
- ・ 車中と避難所
- ・ 高校

③ 発生1ヶ月後

- ・ 実家、親戚の家
- ・ 借家
- ・ 被災者向け県営住宅
- ・ 自衛隊のテント
- ・ 公民館

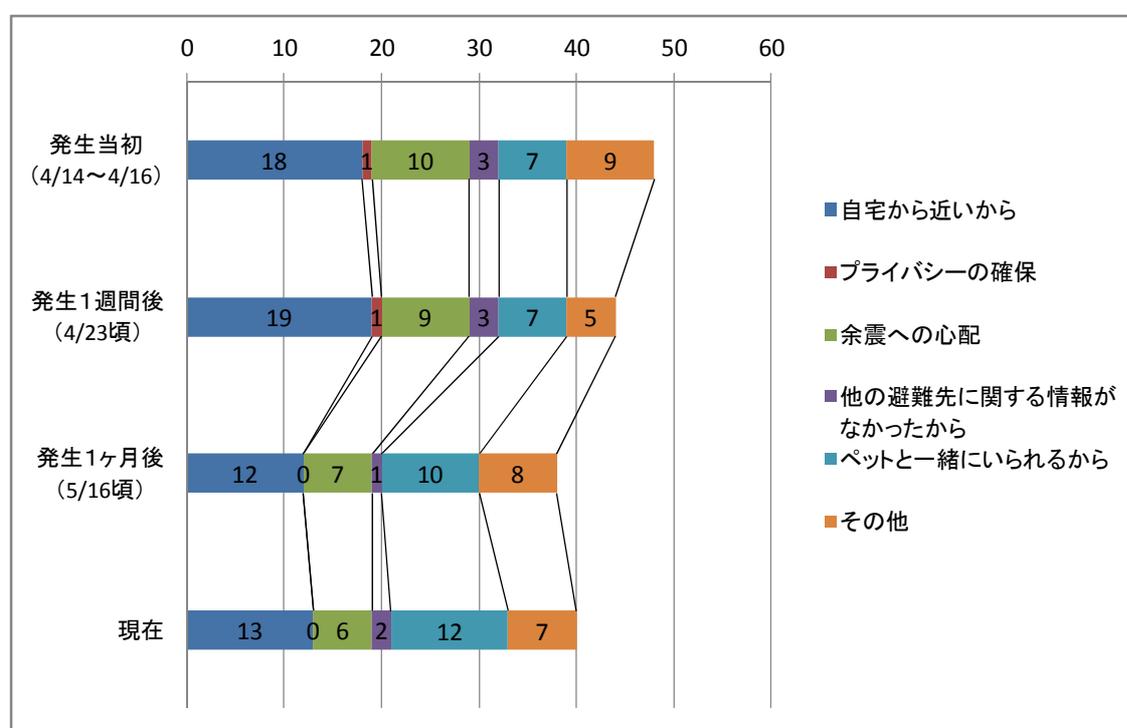
【集計分析】

- ・ 発災当初は、指定避難所の他に車中泊や近くの公園などに避難する割合が多かった。
- ・ 発生から1ヶ月後には、車中泊の割合が減少した。
- ・ 指定避難所へ避難された方の割合は、発災当初から変化は少ない。
- ・ 車中泊が減少し、ユニットハウス村に移行している。

B. 飼い主さまは、なぜ、そこに避難しましたか。(いくつでも)

【指定避難所を選んだ理由】

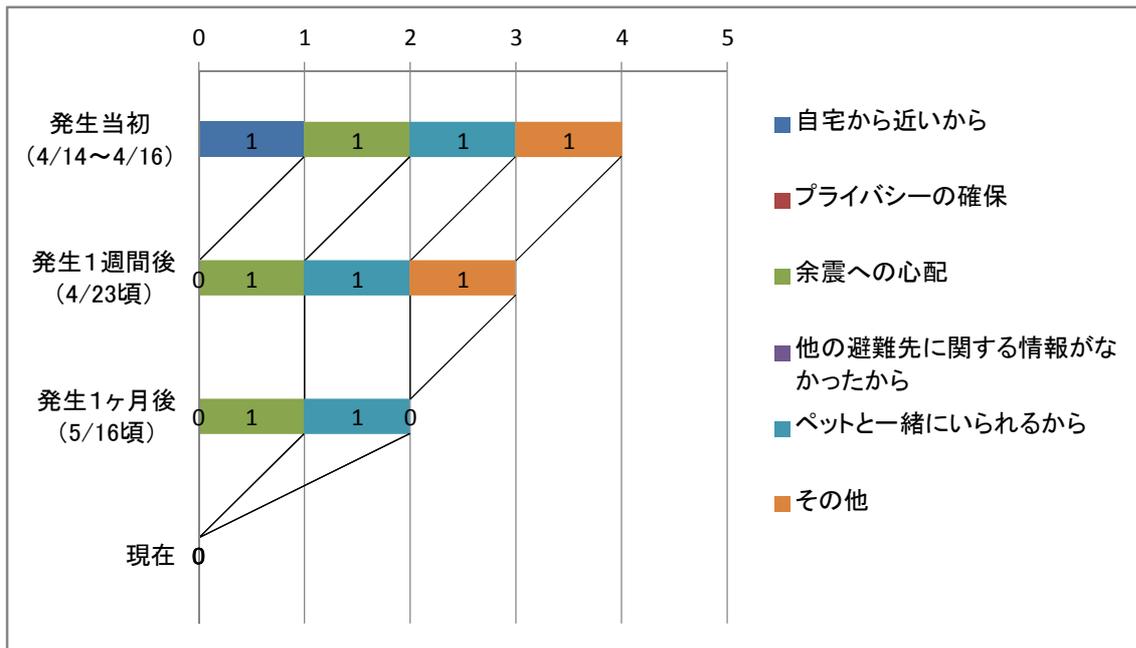
	自宅から近いから	プライバシーの確保	余震への心配	他の避難先に関する情報がなかったから	ペットと一緒にいられるから	その他
発生当初 (4/14～4/16)	18	1	10	3	7	9
発生1週間後 (4/23頃)	19	1	9	3	7	5
発生1ヶ月後 (5/16頃)	12	0	7	1	10	8
現在	13	0	6	2	12	7



指定避難所を選んだ理由 (件数)

【テント泊を選んだ理由】

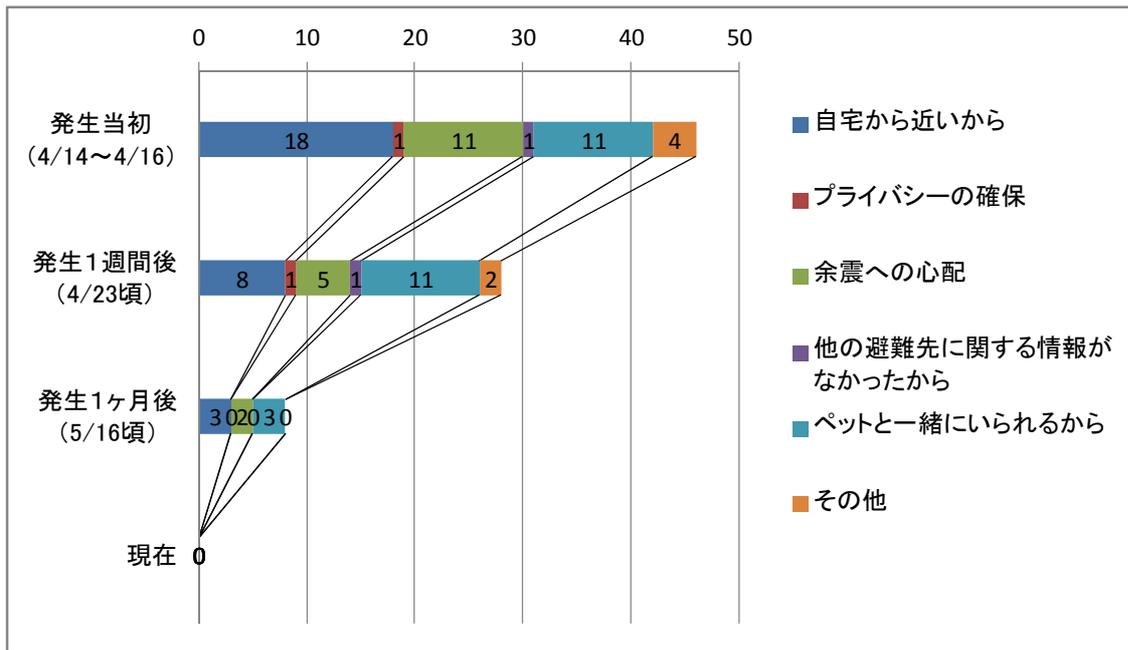
	自宅から近いから	プライバシーの確保	余震への心配	他の避難先に関する情報がなかったから	ペットと一緒にいられるから	その他
発生当初 (4/14～4/16)	1	0	1	0	1	1
発生1週間後 (4/23頃)	0	0	1	0	1	1
発生1ヶ月後 (5/16頃)	0	0	1	0	1	0
現在	0	0	0	0	0	0



テント泊を選んだ理由 (件数)

【車中泊を選んだ理由】

	自宅から近いから	プライバシーの確保	余震への心配	他の避難先に関する情報がなかったから	ペットと一緒にいられるから	その他
発生当初 (4/14～4/16)	18	1	11	1	11	4
発生1週間後 (4/23頃)	8	1	5	1	11	2
発生1ヶ月後 (5/16頃)	3	0	2	0	3	0
現在	0	0	0	0	0	0



車中泊を選んだ理由 (件数)

C. そのとき、ペットはどのような環境にいましたか。(それぞれ1つだけ)

【Ⅰ. 犬を飼っている方】

	ペットと一緒に避難した	ペットと一緒に避難したが、避難後、ペットだけ自宅に戻した	ペットを自宅に置いて避難した	【発生当初】ペットを知人に預けた	【発生当初】その他	避難施設の室内で同居(夜を一緒に過ごす)	避難施設で別居(一時預かり)※夜はペットを避難施設に預ける	避難施設で別居(避難施設外飼育)※夜はペットを車の中等、避難施設外で過ごさせる	ペットを自宅に戻した	ペットを知人に預けた	その他
発生当初(4/14~4/16)	39	2	4	0	3	0	0	0	0	0	0
発生1週間後(4/23頃)	0	0	0	0	0	26	0	4	5	1	13
発生1ヶ月後(5/16頃)	0	0	0	0	0	30	5	4	4	0	5
現在	0	0	0	0	0	28	15	2	2	0	1

C. そのとき、ペットはどのような環境にいましたか。(それぞれ1つだけ)

【Ⅱ. 猫を飼っている方】

	ペットと一緒に避難した	ペットと一緒に避難したが、避難後、ペットだけ自宅に戻した	ペットを自宅に置いて避難した	【発生当初】ペットを知人に預けた	【発生当初】その他	避難施設の室内で同居(夜を一緒に過ごす)	避難施設で別居(一時預かり)※夜はペットを避難施設に預ける	避難施設で別居(避難施設外飼育)※夜はペットを車の中等、避難施設外で過ごさせる	ペットを自宅に戻した	ペットを知人に預けた	その他
発生当初(4/14~4/16)	8	0	3	0	6	0	0	0	0	0	1
発生1週間後(4/23頃)	0	0	0	0	0	7	0	0	1	0	10
発生1ヶ月後(5/16頃)	0	0	0	0	0	6	1	0	1	0	10
現在	0	0	0	0	0	6	5	1	0	0	6

※不明はその他としてカウントした。

D. 前問でお答えになったペットの避難環境について、何故、そうになりましたか。(いくつかでも)

【Ⅰ. 犬を飼っている方】

	【一緒に避難した理由】一緒に避難するのが当然だから	【一緒に避難した理由】一緒に避難するように聞いたことがあったから	【一緒に避難した理由】その他	【一緒に避難しなかった理由】避難先で迷惑がかかると思ったから	【一緒に避難しなかった理由】避難先で屋内に受け入れてもらえなかったから	【一緒に避難しなかった理由】避難所敷地内に入れてもらえなかったから	【一緒に避難しなかった理由】その他	ペットは家族だから	ペットと離れて暮らすのは不安だったから	避難施設のルールだったから	ペットが他の人に迷惑をかけてしまうから	他の選択肢に関する情報がなかったから	その他
発生当初 (4/14~ 4/16)	42	4	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0
発生1週間後 (4/23頃)	0	0	0	0	0	0	0	35	13	6	11	2	4
発生1ヶ月後 (5/16頃)	0	0	0	0	0	0	0	34	15	7	8	3	3
現在	0	0	0	0	0	0	0	36	16	9	4	3	5

D. 前問でお答えになったペットの避難環境について、何故、そうになりましたか。(いくつかでも)

【Ⅱ. 猫を飼っている方】

	【一緒に避難した理由】一緒に避難するのが当然だから	【一緒に避難した理由】一緒に避難するように聞いたことがあったから	【一緒に避難した理由】その他	【一緒に避難しなかった理由】避難先で迷惑がかかると思ったから	【一緒に避難しなかった理由】避難先で屋内に受け入れてもらえなかったから	【一緒に避難しなかった理由】避難所敷地内に入れてもらえなかったから	【一緒に避難しなかった理由】その他	ペットは家族だから	ペットと離れて暮らすのは不安だったから	避難施設のルールだったから	ペットが他の人に迷惑をかけてしまうから	他の選択肢に関する情報がなかったから	その他
発生当初 (4/14~ 4/16)	8	0	2	0	1	0	8	0	0	0	0	0	0
発生1週間後 (4/23頃)	0	0	0	0	0	0	0	10	6	0	1	0	6
発生1ヶ月後 (5/16頃)	0	0	0	0	0	0	0	9	6	0	1	0	7
現在	0	0	0	0	0	0	0	12	6	3	0	0	4

E. この時期、ペットに関して、困ったことがありましたか。(いくつでも)

【Ⅰ. 犬を飼っている方】

	ペットの行動(鳴き声・排泄・他)	ペット用物資の不足(フード・水・トイレシート等)	獣医師の不足	ペットの居場所	他の避難者との関係	避難管理者との関係	その他
発生当初(4/14～4/16)	20	10	4	16	8	2	4
発生1週間後(4/23頃)	16	12	5	18	9	3	3
発生1ヶ月後(5/16頃)	12	4	1	6	6	1	3
現在	8	1	1	1	3	0	4

E. この時期、ペットに関して、困ったことがありましたか。(いくつでも)

【Ⅱ. 猫を飼っている方】

	ペットの行動(鳴き声・排泄・他)	ペット用物資の不足(フード・水・トイレシート等)	獣医師の不足	ペットの居場所	他の避難者との関係	避難管理者との関係	その他
発生当初(4/14～4/16)	1	1	2	1	0	0	6
発生1週間後(4/23頃)	1	1	2	1	0	0	4
発生1ヶ月後(5/16頃)	0	1	1	0	0	0	4
現在	0	1	0	0	0	0	3

F. この時期、ペットに関して、どういう支援が必要だと思いますか。(それぞれ3つまで)

【Ⅰ. 犬を飼っている方】

	ペット用物資(フード・水・トイレシート等)	獣医師	ペットとの同居場所	ペットを預かってもらえる場所	ペットとの生活に関する情報提供	ペットに関する相談相手	その他
発生当初(4/14～4/16)	24	8	36	17	13	2	1
発生1週間後(4/23頃)	22	14	30	18	13	1	2
発生1ヶ月後(5/16頃)	17	11	26	19	11	2	1
現在	11	6	19	17	7	5	3

F. この時期、ペットに関して、どういう支援が必要だと思いますか。(それぞれ3つまで)

【Ⅱ. 猫を飼っている方】

	ペット用物資(フード・水・トイレシート等)	獣医師	ペットとの同居場所	ペットを預かってもらえる場所	ペットとの生活に関する情報提供	ペットに関する相談相手	その他
発生当初(4/14～4/16)	6	1	10	3	0	1	1
発生1週間後(4/23頃)	6	2	10	2	0	1	1
発生1ヶ月後(5/16頃)	7	2	10	3	0	1	0
現在	8	1	7	3	1	1	0

G. この時期、ペットに関して、どんな支援が役立ちましたか。(それぞれ3つまで)

【Ⅰ. 犬を飼っている方】

	ペット用物資(フード・水・トイレシート等)	獣医師	ペットとの同居場所	ペットを預かってもらえる場所	ペットとの生活に関する情報提供	ペットに関する相談相手	その他
発生当初 (4/14～ 4/16)	28	3	12	5	2	1	1
発生1週間後 (4/23頃)	32	9	15	5	2	1	1
発生1ヶ月後 (5/16頃)	29	14	18	13	4	4	1
現在	28	8	21	21	7	3	1

G. この時期、ペットに関して、どんな支援が役立ちましたか。(それぞれ3つまで)

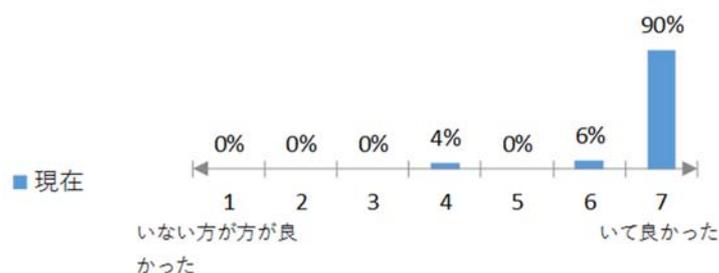
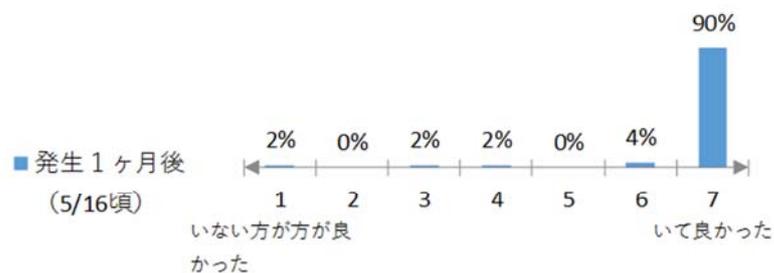
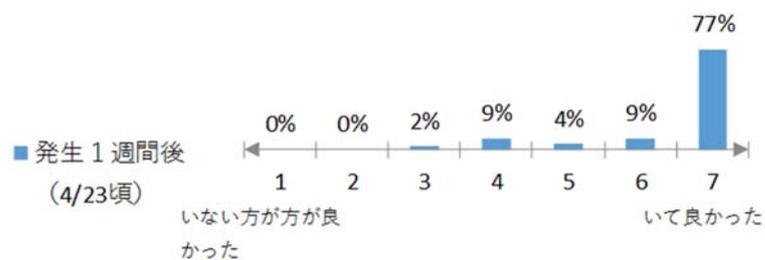
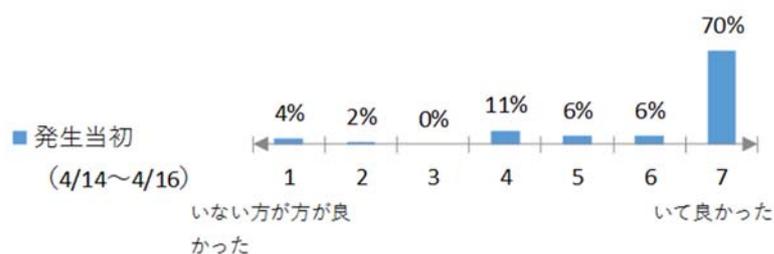
【Ⅱ. 猫を飼っている方】

	ペット用物資(フード・水・トイレシート等)	獣医師	ペットとの同居場所	ペットを預かってもらえる場所	ペットとの生活に関する情報提供	ペットに関する相談相手	その他
発生当初 (4/14～ 4/16)	4	0	4	1	0	1	2
発生1週間後 (4/23頃)	6	1	5	0	0	1	2
発生1ヶ月後 (5/16頃)	6	2	5	5	0	1	1
現在	18	10	4	6	10	0	2

H. この時期、ペットはあなたにとって、どのような存在でしたか。

【I. 犬を飼っている方】

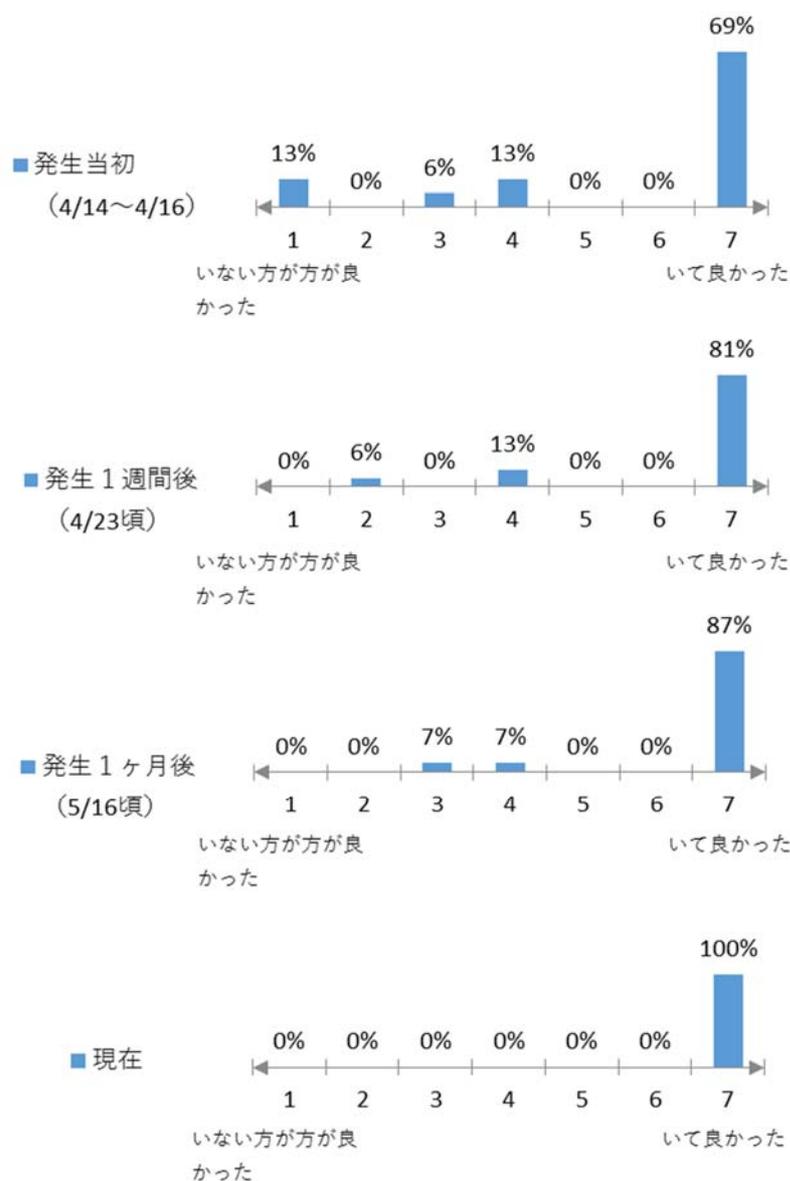
評価	いないほうが良かった							いて良かった						
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
発生当初 (4/14~4/16)	2	1	0	5	3	3	33							
発生1週間後 (4/23頃)	0	0	1	4	2	4	36							
発生1ヶ月後 (5/16頃)	1	0	1	1	0	2	43							
現在	0	0	0	2	0	3	43							



H. この時期、ペットはあなたにとって、どのような存在でしたか。

【Ⅱ. 猫を飼っている方】

評価	いないほうが良かった							いて良かった						
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
発生当初 (4/14~4/16)	2	0	1	2	0	0	11							
発生1週間後 (4/23頃)	0	1	0	2	0	0	13							
発生1ヶ月後 (5/16頃)	0	0	1	1	0	0	13							
現在	0	0	0	0	0	0	16							



(2) 仮設住宅におけるペットの飼養状況

① ペット飼養者へのヒアリング

熊本地震に伴い設置された仮設住宅においてペット飼養者へのヒアリング調査を行いました。ヒアリング調査では、間取り、家族構成、ペット飼養数、飼養の現状とペット飼養に関して困っていることについて伺いました。その結果、異なる2地区の仮設住宅に入居する計5世帯のペット飼養者から以下のような回答が得られました(表4-2-1)。

表 4-2-1

間取り	ペット飼養数	居住人数	現状	困っていること	その他
2DK (4畳半×2+DK)	犬2頭 (小型) 猫2頭	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・入居当所は室内にケージを置いていたが、手狭なため現在はケージを使用していない。 ・犬の散歩は4回/日。排泄はできるだけ散歩時にさせている。 ・小型犬のため吠えやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄のためもあり散歩に頻繁に行く必要がある。 ・たまに室内で排泄してしまう時もある。 ・犬を走らせる場所がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーリードの大型犬がいる。 ・よく吠える犬がいて鳴き声が聞こえる時がある。
2DK (4畳半×2+DK)	犬1頭 (小型) 猫1頭	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・犬は3~4時間おきに排泄のため外に出す(老犬のため排泄間隔が短い)。 ・猫用3段ケージは間取りの問題(ブレイカーの位置)により2段(上猫、下犬)で使用。 ・外が見えるように窓際にケージを置きたいが雨の吹き込みが心配。 ・排泄のこともあり散歩(10~15分程度)は他人のいない仮設団地外周に出るようにしている。 	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・ペットがいることでコミュニケーションのきっかけとなる場合がある。 ・避難所で一緒にいた人とは交流があるが、その他の人とは交流が無く、ペットのいる人たちで集まるようなことは皆さんしようとしなない。

<p>2DK (4 畳半 × 2 + DK)</p>	<p>猫 2 頭</p>	<p>2 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設は狭いので外に出たいというアピールが強かった。 ・鳴き声がうるさいため 1 頭は外に出すこともある。 ・外に出す猫は必ず排泄は室内です。 ・仮設入居当所は猫が環境に慣れないためか下痢をしていた。 ・鳴き声がうるさいため夜中に自宅に連れて帰ったこともあった。 ・ストレスで毛をかきむしったり、抜けたりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊び場がない。 ・猫砂などの費用が負担になっている。 	<p>特になし</p>
<p>1DK (4 畳半 + DK)</p>	<p>犬 1 頭 (大型)</p>	<p>1 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯面から自宅敷地内にある両親の住むプレハブで飼っていたが、犬がすごく痩せてしまったため仮設に連れてきた。 ・散歩は 2 回 / 日。 ・排泄は散歩時にさせている。 ・ケージには入れずに室内飼養している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩中の犬のオシッコについて苦情がある場合もある。 ・大型犬のため散歩中は気を遣う。 ・ケージはあるが入れると鳴く。 ・ペットの糞尿の問題 ・鳴き声の問題 ・旅行に行く際などに預けておける場所がない。 ・仮設での意志決定がなかなか進まない。 ・管理者に相談しても何もしてくれない。 ・公園が遠くペットの遊び場がないが、子ども遊び場とゲートボール場が欲しいとの声がある中でペットの遊 	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い主どうしが集まれる場所があればだいぶ違うと思う。 ・動物ボランティアどうしの連携がとれていないため住民が困惑する。 ・お知らせを掲示板に貼るだけでは住民は見えていない。 ・猫を常にケージ内で飼養している(ケージ外に出さない) 人もいる。 ・猫の飼い主間のコミュニケーションはなかなか取られていない印象。 ・犬が他の犬を噛んだりする問題があった。

				び場が欲しいとは言いにくい。 ・獣医師会も巡回して欲しい。	
2DK (4 畳 半 × 2 + DK)	猫 1 頭	3 名	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋が狭いので窓から外が見られるようにしてあげている。 ・窓等を開ける時は猫が脱走しないように気をつけている。 ・室内で放し飼いにしており、ケージは使用していない。 ・自宅よりも狭いため運動不足で少し太った。 ・仮設団地内の飼い主間の交流はない。 	特になし	特になし

② ヒアリング結果のまとめと課題

仮設住宅におけるペット飼養者の状況は様々でしたが、それぞれに仮設住宅でのペット飼養について課題を抱えている場合が多く見られました。特に室内でのケージ飼養や排泄、鳴き声などの問題について、多くのペット飼養者が課題として挙げていました。

《犬飼養における課題》

- ・排泄は室外でさせているケースが多く、排泄のために頻繁に散歩に行く必要がある。また、室外に出してもらうまでは排泄を我慢している犬が多く、我慢できない場合は室内のペットシート以外の場所で排泄してしまう場合もある。
- ・きちんと糞尿処理を行っていても散歩中の排泄について苦情を受ける場合がある。
- ・ケージになれていない犬の場合、ケージに入れると鳴いてしまう場合があり、鳴き声への苦情が出る可能性があるためケージに入れずに室内飼育している世帯もある。
- ・自由に運動させられる場所が近くにない。

《猫飼養における課題》

- ・外に出たがる猫も多く、人が家を出入りする際に猫が逃げ出さないように注意が必要。
- ・室内が狭く遊ばせる場所がない。

《犬・猫共通の課題》

- ・糞尿への苦情。
- ・鳴き声への苦情。
- ・室内が狭く、ケージを置くスペースを確保できない。
- ・ペット家族会または自治会が設置されておらず課題を挙げる場所がない。自治会等が設置されていない、もしくは設置されていてもうまく機能していないことで、一部の飼養者にペット飼養に関する相談や苦情が集中している場合がある。
- ・ペット飼養者どうしの情報交流の場（機会）がない。
- ・支援活動を行っている動物ボランティアどうしの連携がとれていないため住民が困惑する場合がある。

これらのペット飼養者の抱える課題については、ペット飼養可の仮設住宅を設置している自治体の把握課題にはほとんど挙がっていませんでした（「1.（3）③仮設住宅におけるペットの飼養」参照）。自治体では、苦情や相談が挙がってこないため課題はないと考えがちですが、実際には飼養者は様々な課題を抱えており、それを相談する窓口がないなどの理由で自治体が課題を把握するのが遅れている可能性が考えられます。ペット飼養者どうしの情報交流の場や家族会等を機能させ、仮設住宅におけるペット飼養に関する課題について自治体と飼養者、非飼養者が連携して課題の共有と対応を行っていくことが各仮設住宅設置地区において求められています。一方、飼養者から挙げられた課題の多くは、平時の飼養方法やしつけ等に起因するものも多いことが特徴です。飼い主責任において平時からきちんとしたしつけを行い、非常時に備えた飼養方法をとっていくことが飼養者側には求められます。

